

令和6年度（2024年度）島根県立大学  
国際関係学部 国際関係学科  
国際関係コース

一般選抜（前期日程）

**小論文**

**【解答時間 90分】**

以下の1から8をよく読んでその指示に従うようにしてください。  
指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。許可なく問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから3ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は2枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は2枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 試験時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

**問題** 次の文章を読んで、後の問いに解答しなさい。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

出典 監修者：貴堂嘉之、著者：一橋大学社会学部貴堂ゼミ生&院ゼミ有志『大学生がレイシズムに向き合って考えてみた』明石書店、2023年、14～17ページ。  
なお、出題に当たっては文章の一部と見出し、注を省略した。

- 問1 下線部（A）に関して、日本が欧米諸国における人種差別と無関係ではなかった、とはどのような意味か。文章中の表現を用いて100字以内で説明しなさい。
- 問2 下線部（B）に関して、なぜ日本においては、「人種」ではなく、「民族」という言葉が用いられるようになったのか。その内容を問題の文章全体を踏まえて、150字以内で説明しなさい（なお、文章中の表現を用いても構わない）。
- 問3 下線部（C）に関して、「日本における差別を「人種差別」と捉えることによって、他国における差別が日本社会につながる問題であることが見えてきます。」という筆者の見解について、あなたはどうか考えるか。文章中からこれらが指し示す意味を簡単にまとめ、これまでに学校で学んだことや普段の生活の中からの気づきも参考にしながら、800字以内でできるだけ具体的に論じなさい。

（以下余白）